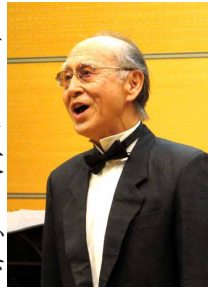


# 一生無休 音楽と絵画の二刀流 今泉忠雄さん



アメリカ大リーグでは、打者と投手の二刀流、大谷選手が活躍している。高津在住の今泉忠雄(78)さんも音楽と絵画の二刀流だ。

大手商社マンとして活躍したサラリーマン時代。アメリカのボストンとインドのボンベイに駐在した。今泉さんの著書「2つ

## 第8回 バラの会コンサート開催

「第8回バラの会」のコンサートが、3月24日、緑が丘プラザ5F音楽ホールで開かれた。男女合わせて15名のソリストが、プロ顔負けの歌を披露して、会場から大きな歓声と拍手を浴びた。

8回目を迎えた「バラの会」のコンサート。例年ゴールデンウィークの前半に開催されるが、今年は一か月ほど早まった。タキシードで格式高く装う男性ソリストに対して、女性

は一部と二部で衣装替えし華やかに演出。入川めぐみさんと谷田扶

実子さんのピアノ伴奏で、イタリア歌曲やドイツリートを感情を込めて歌った。プロになったつもりで歌うというこのコンサートは、ソリストが1年間をかけて練習してきた成果を発表する輝かしい舞台。一年一年の積み重ねが「バラの会」の歴史を作

り、ソリストを成長させてきた。毎年ごとにレベルアップする「バラの会」のコンサートは、期待と感動を観客に届けている。

公民館などで演奏する高橋さんのピアノは、作曲された時代背景、作曲者の人となり、心情など曲にまつわる説明をしてから始まる。そこで、観客は曲ができた背景をイメージでき、ピアノの音を受け入れやすくなる。このユニークなピアノ

の「B」によると最富国と最貧国を経験したと語っている。アメリカ駐在の頃は、まだ1ドル360円の固定相場時代。日本では一〇階建てのビルしかなかった時代に、アメリカでは一〇〇階建てのビルに遭遇して度肝を抜かれたという。生き生きとして行き交うアメリカ人に経済発展国の活力の原点を見出した。その後、インドに赴任するも今度は逆の世界を体験する。とにかく貧しい。戦後の物のない日本を思い出させた。今泉さんは、その

インドをモチーフに多くの絵を描いている。しかし、その作品において貧しさはまったく感じられない。貧しい暮らしの中には、その土地ならではの生活の喜びがあるとして、人々の姿を生き生きと表現している。

本場ヨーロッパのオペラ劇場にも何度も足を運んだ。オペラに憧れるうちに、自分でも歌うようになり地元八千代で開催される「リソル絵画クラブ」を始めた。今泉さんの持つ絵の技術や考え方をボランティアとして人々に伝える。

道。今回は、クラシック音楽の本場クロアチアで修行して4年前に帰国。八千代市在住のピアニスト高橋若菜さんの演奏を鑑賞した。

優れた出演者が優れた演奏を披露することができる。

「絵画と音楽との共通点はリズムがあることだ」と今泉さんは言う。音楽のリズムはわかるが絵画のリズムは凡人にはわかりにくい。しかし、このリズムを把握した今泉さんだからこそ、絵画と音楽の二刀流を果たす。

残りの人生を社会貢献に充てたいという今泉さん。長生郡長柄町にあるリソル生命の森で「リソル絵画クラブ」を始めた。今泉さんの持つ絵の技術や考え方をボランティアとして人々に伝える。

第2回目となった大和田公民館主催「音楽の散歩道」が、大和田公民館2階講習室で開催された。地域の幅広いジャンルの音楽を優れた演奏や合唱で披露する「音楽の散歩道」は、さらに、クラシック音楽をわかりやすく伝える高橋さんの工夫により、難しそうに思えるクラシック音楽をより身近に感じることが

演奏会は、観客の満足度が非常に高い。技術的なピアノの演奏に加えて、クラシック音楽をわかりやすく伝える高橋さんの工夫により、難しそうに思えるクラシック音楽をより身近に感じることが

演奏会は、観客の満足度が非常に高い。技術的なピアノの演奏に加えて、クラシック音楽をわかりやすく伝える高橋さんの工夫により、難しそうに思えるクラシック音楽をより身近に感じることが



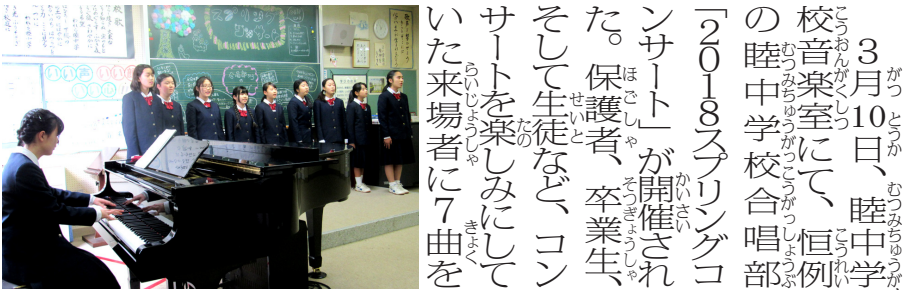
<p><b>高津公民館主催講座</b> (担任者:高津公民館 正野・小島まで)</p> <p><b>体験講座「つくりもののつるし雛を作ろう」全5回</b></p> <p>講演内容 <b>初心者を対象に、つるし雛を作ります。</b></p> <p>開催日時 <b>2018年5月16日/6月6日・20日/7月4日・18日</b>の各水曜日 午前10時~12時</p> <p>場所 <b>高津公民館</b> 対象 <b>市内在住在勤の成人10名(申し込み先着順)</b></p> <p>参加費 <b>500円(材料費)</b> 持ち物 <b>直接公民館へ問合せ</b></p> <p>申込 <b>4月18日午前9時~</b> TEL 450-0353か高津公民館窓口にて受付</p>	<p><b>高津いきいき学級 座学編 全3回</b></p> <p>江戸時代の社会と現代社会を比較し、時代の違いやつながりを学びます。</p> <p>開催日時 <b>2018年5月18日/6月15日/7月20日</b>の各金曜日 午前10時~12時</p> <p>場所 <b>高津公民館</b> 対象 <b>市内在住在勤の60歳以上</b></p> <p>参加費 <b>100円(資料代)</b> 定員 <b>12名(申し込み先着順)</b> 持ち物 <b>筆記用具、のみもの</b></p> <p>申込 <b>4月18日午前9時~</b> TEL 450-0353か高津公民館窓口にて受付</p>
---	---

# 今月のヒーロー☆樋口英汰くん



今回のヒーローは、高津小学校5年生の樋口英汰君です。英汰君は、3月18日、やちよ

## 睦中合唱部スプリングコンサート



3月10日、睦中学校音楽室にて、恒例の睦中学校合唱部の2018スプリングコンサートが開催された。保護者、卒業生、そして生徒など、コンサートを楽しみにしていた来場者に7曲を

披露して、睦の地に春を呼び込んだ。昨年、睦中を卒業した合唱部OGの伊原凛さんは「この1年間で、ほんとうに成長しました。1年生もよくがんばっていました」と。伊原さん自身も高校の聖歌合唱部に所属して活躍している。3年生の部員なしでがんばってきた合唱部の1・2年生も、来年はいよいよ上級生。特に、2年生は最上級生として、今まで培った



代緑が丘駅すぐそばにあるリズムステップダンススクールに週2回通って5年が経ちました。すばらしい演技だったにもかかわらず、今日の出来は90点と課題もみつけて非常に前向きです。「ロボットエンジニアかダンサーになりたいです」と将来の夢も話してくれました。

**CAST 東京大学** サイエンスコミュニケーションサークル

**サイエンスミュージアム**

私たち東大CASTは、「科学の面白さを、多くの人に伝えたい」という思いのもと、各地で理科実験教室やサイエンスショーを実施しています。東京大学の学園祭への出展や、本の出版なども行っています。

# 「チーム萱中」の卒業式

## 厳粛な形式の中に流れあり



3月13日、萱中学校「第27回卒業証書授与式」が萱中学校ア

リナで行われた。生徒主体で進行する厳かな式典の中で、生徒・先生・保護者の充実した気持ちも伝わった。静粛ながらも中学

3月11日、高津団地第一集会所にて、読売センターゆりのき高津・八千代緑が丘主催、子どもネット八千代協賛「サイエンスミュージアム」が開催されました。現役の東大生が科学のふしぎと楽しさを教えるこの読売セ

ンター特別子ども企画は、東京大学のサイエンスコミュニケーションショーが、東京大学のサイエンスセンターから出前して実験を行います。この日の実験には、30名の小学生が参加。静電気をテーマにたくさんの実験を行い、子どもたちを楽しませました。



子どもたちのために行動し、それを支える先生が学校の財産であると強調。さらに、卒業してからも、リーダーシップを發揮できる人物になって欲しいという期待も述べられた。

最後、卒業生から後輩に向けてのお願いが2つ。「授業の2分前から席に着き授業の準備をする。そして無言で掃除をする。この2つのことをぜひ引き継いでください」と。相互に支え合い、研ぎ合ひ、高め合う組織づくりが「チーム萱中」。本日の卒業式で「チーム萱中」が実証され、最高の教育現場を体験した卒業生が巣立っていった。



オペラシアター こんにやく座 オペラ

**銀の回パ**

ひんやりした春の朝、森の中で幼い姉妹が出会ったのは 戦場を逃げだしてきた目の見えないひとりの兵士だった...

原作・ソニー・ハートネット(訳:野沢佳織 主催の友社刊による) 台本:いずみ 凛 作曲:萩京子 演出:恵川智美

生の歌声とピアノの音色が 会場いっぱい広がります

**2018年6月3日(日)** 開場/17:30 開演/18:00

**八千代市市民会館大ホール**

主催: 特定非営利活動法人子どもネット八千代  
共催: 公益財団法人八千代市文化・スポーツ振興財団  
後援: 八千代平和事業市民実行委員会

【全席自由】  
前売り 3,000円  
当日 3,500円  
フレンド 2,500円  
※3歳以下入場不可

申し込み・問い合わせ  
特定非営利活動法人子どもネット八千代  
〒276-0020  
八千代市勝田台北1-5-11(平日10時~16時)  
TEL 047-486-4699